

新着案内

『見るだけで大開運！絶景×神社』

島田 裕巳 監修（宝島社）

写真を眺めて運気を上げる！出羽三山、伊勢、熊野、高千穂…。日本十大聖地をはじめ、靈験あらたかな日本全国全98力所の絶景×神社を紹介。



『ケンミンぼうやに教わる
ライスペーパーレシピ』

ケンミン食品株式会社 著（世界文化社）
創業75年の老舗メーカーが教える「生春巻きだけじゃない！」グルテンフリーでアレンジ自在のライスペーパーをマルチに使えるレシピ。



『百年の短歌』

三枝 昂之 著（新潮社）

宮中歌会始選者が読みとく、近現代短歌。105首の名歌を懇切に鑑賞することで、作歌へのヒントが学べるユニークな短歌入門書。



『絵本ってどうやってつくるの？』（ほるぷ出版）

ダニエル・ナップ作 若松 宣子 訳
やあ、ぼくはネズミのコンラート。絵本のつくりかたをおしえてあげる！お話のアイディアが生まれてから、本屋で売られるまでを描く。



移動図書館

阿蘇・一の宮地区（1月9日金・2月6日金）

西役犬原公民館	10:00～10:10
竹原公民館	10:15～10:30
坊中公民館前	10:40～10:55
赤水駅前	11:15～11:25
宮本酒店前（車帰）	11:35～11:45
坂梨公民館	15:15～15:25

波野地区（1月14日水・2月10日水）

波野保健福祉センター 11:20～11:30

※天候や道路状況により巡回を中止することもあります。

臨時休館

阿蘇図書館は、蔵書点検のため1月27日（火）から1月30日（金）まで臨時休館します。

なお、一の宮図書館は平常通り開館しています。

おはなし会

おはなしボランティア『おはなしアップル』のおはなし会を開催します。参加は無料です。ぜひ、ご参加ください。

とき 1月17日（土）午前10時30分

ところ 阿蘇図書館

●医療スタッフの健康講座
●参加費無料 ●それぞれ、毎月1回開催
●当院の医師や専門のスタッフと
認知症に関する不安等をお話ししましょう！
場所：坂梨会ミュテイセタ「わくわく」（阿蘇温泉病院向かい）
[申込み方法や詳細は、下記までお気軽にお電話下さい]
☎0967-32-0881【阿蘇温泉病院】

認知症カフェ
もやい
力

毎月第1曜日
14:00～15:30

広告

まちの
力

いろいろな仕事に興味を

11月1日、阿蘇体育館で、こども仕事体験フェスタin阿蘇が開催され、市内の小中学生およそ80名が参加しました。仕事体験フェスタには建設業や金融業、図書館、警察署、消防署など市内外10の企業・団体が協力。参加した子どもたちは、1人2業種の仕事体験を一生懸命に笑顔で楽しみました。



世界の名車が一同に集う

11月12日、RALLY NIPPONが開催され、阿蘇神社から門前町商店街にかけてクラシックカーおよそ60台が並びました。門前町商店街では阿蘇中央高校生のボランティアによる参加者へのコーヒーの振る舞いなども行われ、世界の名車を一目見ようと、当日は多くの見物客で賑わいました。



地域へ発信！

地域と学校が連携し生徒たちの体験活動を実施する、阿蘇中学校「地域発信の日」が11月12日に行われました。生徒たちは、道の駅阿蘇での募金活動や内牧中央線花壇の植栽活動、保育園・幼稚園での読み聞かせ、ニューススポーツ体験活動など様々な活動を実施し、「阿蘇中学校」を地域に発信しました。



芸術の秋を堪能する

10月25日、赤水公民館で「阿蘇市老人クラブ連合会文化祭」が、11月1日から2日かけて、阿蘇体育館で「阿蘇市こども芸術祭」と「阿蘇市民文化祭」が開催されました。それぞれの会場は多くの人でぎわい、来場者は芸術の秋を堪能しました。



▲老人クラブ連合会文化祭のようす

ステージショーやカラオケ大会など楽しい催しが盛りだくさんでした。



▲阿蘇市こども芸術祭のようす

市内の幼稚園児・保育園児から中学生までの5団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。



▲阿蘇市民文化祭のようす

29団体のステージ発表と、30団体による日ごろの活動で製作された多くの芸術作品が展示されました。

しめ縄づくりにチャレンジ

12月4日、市内に住んでいる外国人を対象とした「ほんごあそびば」の一環として、しめ縄作り体験が道の駅阿蘇で行われました。

参加されたヨシミ・タン・シュウメイさんは「初めて自分で作ってみたが、一人ではできなかったと思う。作ったしめ縄は玄関に飾りたい」と話しました。



ボランティアでつながる笑顔

11月30日、阿蘇保健福祉センターで、第9回阿蘇市ボランティアふれあいまつりが開催されました。阿蘇市ボランティア連絡協議会や所属団体を市民に知つてもらおうと毎年開催されており、スーパー・ボール・スキー・やふうせんとばし、わなげ、ハシゴ車搭乗体験、バザーなど様々なブースが各団体から出展されました。



全国大会出場者

相撲

第38回 全日本小学生相撲優勝大会
森 元人 (阿蘇小学校5年)

バスケットボール

第14回 U15クラブバスケットボールゲームズ
松永 来希 (帯山中学校3年/阿蘇小出身)

お詫びと訂正

広報あそ12月号21ページに誤りがありました。
「波野中学校1年 古林 穂住」とあったのは
「波野中学校1年 古林 穂佳」の誤りでした。
読者の皆さま、関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。

12月号 21ページ

「阿蘇市男女協同参画川柳入選作品」

誤

波野中学校1年 → 波野中学校1年
古林 穂住 古林 穂佳

正

波野中学校1年 古林 穂佳

内田孝昭さん「緑白綬有功章」を受章

緑白綬有功章を受章した内田孝昭さんが11月21日、市長のものを訪ねて受章を報告しました。この章は、農事改良の奨励または実行上功績顕著な人などに対し、(公社)大日本農会から贈られる章で、ICT農機などを活用したスマート農業の実践や、農業への担い手育成に尽力したことなどが高く評価されました。



チャリティーを寄附

市内で活動されているカラオケ教室「リズム館」の代表、東よしおさんが11月17日市を訪ね、市長に寄附金を手渡しました。この寄附金は前日16日に開催された「リズム館チャリティー合同発表会」で集められたもので、発表会は総勢40人のカラオケ披露や、中国変面ショーなどで大いに盛り上がりました。



カードゲームで災害について考える

防災について楽しく学んでもらおうと、能美防災株式会社が、防災学習用カードゲーム「防災ビーストバトルアタック」30セットを市に寄贈しました。このゲームは「火災」「地震」などの災害に、カードとサイコロを駆使しながら仲間と協力して立ち向かうゲームで、市内の全小学校に配布されました。



道路と河川に彩りを

11月14日、令和7年度道路河川環境美化コンクールの表彰式が市役所であり、11団体応募の中から、波野地区の住民からなる「和みの花みち保存会」が最優秀賞を受賞しました。その他の団体も道路沿いや河川沿いをきれいな花で彩り、市内の景観向上に努めていただきました。



清掃活動でまちをきれいに

11月21日、阿蘇たばこ販売協同組合の13人が市役所周辺の清掃活動を行いました。同組合は市内のたばこ販売店22店舗が加入しており、社会貢献活動として、永年にわたり、毎年3回市役所周辺や阿蘇医療センター周辺などの地域の美化作業を実施しています。



阿蘇駅前がきらびやかに

11月15日、阿蘇駅前噴水広場において、恋人たちのイルミネーション点灯式が開催されました。点灯式には、ダンスチームなど様々なゲストが登場。カウントダウンとともにイルミネーションが点灯し、会場は歓声に包まれました。イルミネーションは午後3時30分から午後9時30分まで点灯し、2月28日まで飾られます。



からだ温まる豆乳鍋

食生活改善推進員協議会

材料 (4人分)

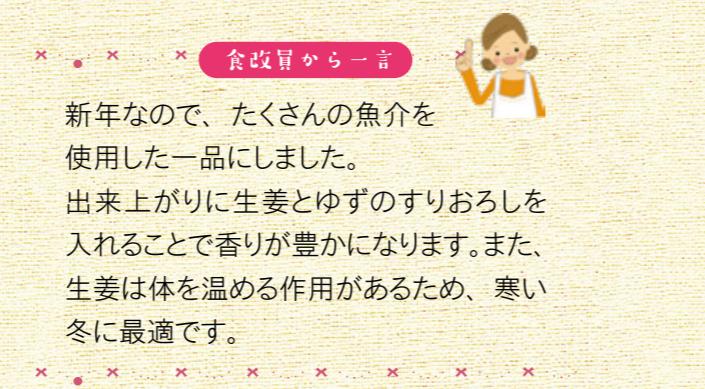
豆乳	400ml	だし汁	500ml	鮭	4切れ
ホタテ	4個	エビ	8尾	豚肉細切れ	100g
里芋	4個	人参	1/2本	小松菜	1袋
白菜	1/4個	ネギ	1本	味噌	大さじ2
塩	適量	ゆず	適量	生姜	適量

白菜・小松菜・白ネギは阿蘇市内の道の駅にて購入。



作り方

- 里芋の下処理を行う。
- 里芋、人参、小松菜、白菜、ネギをお好みの大きさに切り、下茹でをする。
- エビ、ホタテ、鮭に熱湯をかけ、水切りする。
- 鍋にだし汁と豆乳を入れて火にかけ、味噌をとかす。塩味が足りなければ塩で整える。
- 豚肉と下茹でした野菜、魚介を入れて煮込む。
- 全てに火が通ったら、スープの味見をする。
- 好みでゆずの皮と生姜をすりおろして混ぜたら完成。



夢を追いかけて

夢を追いかける青少年の声を届けます

私の夢は、旅客機のパイロットです。小さい頃から空が好きで、いつも雲や星を眺めていました。小学生の時に、初めて乗った飛行機の上から眺めた雲が、とても綺麗だったことを覚えています。その頃から、私は航空関係の職に就きたいと考え始め、両親はそれを今でも応援してくれています。この夢を叶えるため、今は英語の学習にも力を入れています。将来は、お世話になった方々を乗客として、安心安全に送り届けられるパイロットになりたいです。

下田 智晴

しもだ ともはる
阿蘇中学校・3年



アソヒト



Vol.6 児玉 美里さん 晴一さん

将来は海上自衛隊を目指し、高等工科学校への進学を考えている中学3年生がいます。その原点は、小学生の頃に出会った船の専門誌『J-SHIPS』でした。艦艇特集のページを見て「かっこいい」と感じたことをきっかけに、軍艦や海の仕事に興味を持つようになったそうです。そこから少しづつ情報を集め、見学やイベントにも参加しながら、自分なりに進路を考えてきました。そんな彼がこの夏、新たに挑戦したのが「防災士」の資格です。きっかけは、学校で配布された講習の案内でした。「3日間なら行けそう」と感じ、まずは“やってみよう”と親子で申し込みを決めました。農村環境改善センターで行われた講習には、地域の大人たちも多く参加していました。中でも印象に残ったのは、避難所運営を体験するグループワークです。体育館やグラウンドの使い方を考えながら、次々に起こる出来事に対応していく内容で、「思っていた以上に考えることが多く、頭も体も使った」と振り返ります。災害時には、知識だけでなく、その場で判断する力が求められることを実感したそうです。 “市内初”親子での「防災士」の資格を取得し、防災に対するそれぞれの意識にも変化が生まれました。特別な備えだけでなく、普段から「地域にどんな人が住んでいるのか」「顔が見える関係があるかどうか」が大切だということ。隣の人を知っているだけでも、いざという時の助け合いにつながると感じたといいます。まずは挨拶から。小さな一步の積み重ねが、いざというときに助け合える地域づくりにつながっていきそうです。



阿蘇市地域おこし協力隊
長尾 昌樹
(まちづくり課 所属)



@ASOLEAN_N

